

選手たちに熱いエールを！

フレッシュな新入生たちでキャンパスは華やいている。グラウンドや体育館では、スポーツに汗を流す選手の声がこだまする。城西大学は昨年、記念すべき創立50周年の節目の年を迎えた。今年はさらなる50年の新しい一歩を踏み出す年だ。それはまた、「城西大学のスポーツ」が新たな伝統を刻む年でもある。「城西大学スポーツ」(Jスポ)とともに、選手たちに熱いエールを送ろう。



セットプレーの練習を繰り返す城西イレブン

“城西のスポーツ”が 新たな伝統を刻む年

新入生のみなさん
ご入学おめでとうございます



水田 宗子 理事長

新入生のみなさん、ご父母のみなさん、ご入学おめでとうございます。

城西大学は、開学以来、50年の歴史を刻みました。姉妹校の城西国際大学は、創立25周年を迎えます。この記念すべき節目の年に「城西の門」をたいたみなさんを、教職員一同、心より歓迎いたします。

政治家・蔵相として戦後、日本再生に力を尽くした創立者の水田三喜男は「人材育成こそが国と社会建設の根本」と考え、本学を開学しました。建学の精神は「学期による人間形成」です。このキャンパスで多くの学生が、その精神を实践し、勉学やスポーツ・文化活動に励んでいます。

いまや箱根駅伝の常連になった男子駅伝部をはじめ、栄光を目指して練習する各運動部も、そうした先輩たちが培ってきた伝統の力に支えられていると思います。

入学したみなさんの視野には、奥行き深い「知の世界」とともに広大な「城西スポーツの地平線」も入ってくることでしょう。スポーツ・文化活動を通じて、有意義な学生生活を送ってください。

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生もぜひ参加してください。

連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

サッカー部 課題をクリアした先に道は開かれる 「Awareness ~情熱! 高い志を胸に!~」

「情熱! 情熱! 高い志を胸に!」これがサッカー部の今年度のモットーだ。昨年は埼玉東部リーグで連覇を達成したものの、2年連続で関東大学サッカー部リーグへの昇格をあと一歩で逃した。このモットーには、あと一歩を詰めるために目覚めるべき課題を洗い出し、考え、取り組む方法を改革する、という思いが込められている。

偉大な先輩たちを上回りたい

「前年同様、情熱! 高い志を胸に!」これがサッカー部の今年度のモットーだ。昨年は埼玉東部リーグで連覇を達成したものの、2年連続で関東大学サッカー部リーグへの昇格をあと一歩で逃した。このモットーには、あと一歩を詰めるために目覚めるべき課題を洗い出し、考え、取り組む方法を改革する、という思いが込められている。

全力!! 追い込む力。やり切る力。

昨年のレギュラーはほぼ全員が4年生だった。レギュラーで残ったのが、新主将の星野尚希。星野は昨年は目標を達成することができず、悔しい思いをした。昨年と比べて一人ひとりの力低いが、チーム丸となって戦うことができる選手がそろっていると思う。強いメンタリティで目の前の試合ずつの課題を、すべての大会で昨年の偉大な先輩たちの結果を上回るよう部員全員で頑張る」と決意を語る。

【プロフィール】
部員数: 73人
部長: 永都典典
監督: 須山 誠
主 将: 星野尚希 (経営4)
主 務: 遠藤未紗希 (薬学4)

【試合日程】
4月 総理大臣杯
5~6月 東リーグ
7~8月 アミハイタル杯
7~8月 天皇杯予選
9~10月 東リーグ後期
11月 関東大会

【期待の選手】
須田浩暉 (青森山田) (1)
青山和樹 (秋田東明) (2)

【有力新入生】
須田浩暉 (青森山田) (1)
青山和樹 (秋田東明) (2)

目指すは関東リーグ復帰



「“下克上”~昨日の自分を超えろ~」がスローガン 技術とともにメンタル向上に打ち込む

硬式野球部



【プロフィール】
部員数: 80人
部長: 原野素雄
監督: 小原次廣樹
主 務: 見目雄哉 (経営4)
マネージャー: 平井大貴 (現代政策4)

硬式野球部は昨年度の首都大学野球の1部秋季リーグで残念ながら最下位に終わった。しかし、その後の入替戦では全勝で1部残留を決めた。新チームの選手たちは「一部に残留することができたのは4年生の力があってからだ」と話。

選手たち
「チームの体感に手応え」

いかに失点を少なくするか、チームの大きな課題だ。



4度目のリーグ優勝、全日本大学野球選手権大会出場を!

小原次廣樹監督は就任当初から守備を固めることを課題としてきた。このため、このオフ期間も、守備を重点に技術とともにメンタルの向上を目標に練習に打ち込んできた。選手たちは「チーム一体感が生まれた」と手応えを感じているようだ。

今年度は、秋季リーグで最下位だった自分を反骨し、日々の意味で「下克上」をスローガンに掲げる。首都大学野球

は今年から3年ぶりに1部6校で、2戦必勝勝ち点制に layers. 選手には4回りのリーグ優勝、全日本大学野球選手権大会出場を目指して意気込んでいる。【松岡啓二】

【試合日程】
4~5月 春季リーグ
6月 全日本大学野球選手権大会
9~10月 秋季リーグ
11月 明治神宮記念大会 新人戦

【期待の選手】

小泉龍仁 (経営4、一塁手)
見目雄哉 (経営4、遊撃手)
大丸功貴 (PL学園、一塁手)
竹脇大貴 (現代政策4、投手)
長谷川将樹 (経営3、三塁手)
金城知之 (高知中央、投手)

【有力新入生】
()内は出身高校

今年こそはインカレ優勝を

女子ソフトボール部の目標は、戦時時代ともいわれる激戦の大学女子ソフトボール界で今年こそインカレ優勝を果たすことだ。これまで8強止まりだったが、今年チームは選手層が厚く期待が持てる。新主将の榎本千波(経営4)は昨年、注目を集めた。昨年は、けがで主将を棒に振った。けがからの復帰で迎える最後の年とまで力を発揮するが楽しみだ。

チームは部員の増加とともに選手層にも厚みが出た。これまで選手層に不足に悩まされてきたが、新チームには人も選手層が、競い合うことにより

男子ソフトボール部

関東リーグ1部所属のインカレにも連続出場を果たし、おれへ優勝を狙えるチームだ。選手一人ひとりがチームのため役割を担い、一人も欠かすことのできない存在として全員で協力し活動の運営を行っている。選手主体、そんな団結力が城西大学ソフトボール部の強みとなっている。

女子ソフトボール部同様、近年は部員数の増加によって選手層に厚みが出てきた。新チームには、9人の新入生の入部が予定されている。その中には高校時代にインターハイや団体など全国の舞台を経験した選手も多くおり、活躍が期待される。

今年の日本インカレは地元埼玉の坂戸市総合運動公園で開催される。普段はなかなか見ることもできないインカレレベルの試合を生見することが出来る絶好の機会だ。ぜひ、応援に足を運ばたいものだ。【岩内賢輔】



【試合日程】
4月 全日本総合選手権 埼玉県予選
5月 春季リーグ
6月 関東学生選手権大会兼全日本大学ソフトボール選手権関東地区予選
6月 東日本大学選手権
9月 全日本総合選手権
10月 秋季リーグ
11月 関東大学ソフトボール選手権

【プロフィール】
部員数: 22人
部長: 水村隆一郎
監督: 菅沢光浩
主 務: 池田剛一朗 (現代政策4)
主 務: 藤田弘弘 (現代政策3)

【期待の選手】
榎本千波 (経営4)
蟹沢真帆 (経営4)

【試合日程】
4月 全日本総合選手権 埼玉県予選
5月 春季リーグ
6月 関東学生選手権大会兼全日本大学ソフトボール選手権関東地区予選
8月 東日本大学選手権
9月 全日本総合選手権
10月 秋季リーグ
11月 関東大学ソフトボール選手権

【プロフィール】
部員数: 25人
部長: 新井浩樹
監督: 森澤憲徳
主 務: 榎本千波 (経営4)
主 務: 岡 美月 (経営3)

取材スタッフ

編集長 松岡啓二 (薬学部4年)
編集 菅原仁美 (薬学部4年)
編集 岡井由成 (薬学部4年)
編集 遠田真輝 (経営学部3年)
編集 本間智久 (薬学部3年)
編集 足田彩海 (経営学部2年)

西村健太郎 (薬学部4年)
岩内賢輔 (経営学部3年)
高橋真実 (経営学部3年)
本多真実 (薬学部3年)
渡邊春花 (経営学部2年)

アドバイザー

知見寺美紀 (2014年度卒業)
吉田美咲 (2015年度卒業)
佐川由紀 (2015年度卒業)

Jスポ <http://www.facebook.com/JOSAI SPORTS>

この感動をたくさんの人たちに

録を更新した話を聞くと、祝福する気持ちと同時に劣等感がわき上がった。陸上に背を向けているながらも、無関心になりきれずにいる自分もどかさなかった。

そんな私に、陸上との新しい関わり方を試みさせてくれたのが「Jスポ」だった。きっかけは友人の「陸上やってみな。記事書いてみな？」のひと言、様子を見るだけと、陸上部の取材に同行することになった。そこで見たのは、真剣な表情で練習に打ち込む選手姿だった。競技会では、雷管の響きに全身がしびれた。ハイレベルな記録の壁に胸が熱くなった。そこには、また陸上に好きになった自分がいた。そして、選手の取材をしていくうちに、この感動を、興奮を、選手たちの思いをもっとたくさんの人に知ってほしいと思うようになった。私は感動を生み出さなくても、伝える役割を担おうと。

Jスポの活動を通して、さまざまな人にお世話になっている。取材協力してくれる選手はもちろん、先生方やいつも手助けしてくれる友人、取材のためにどんなに朝早くても頑張れと背中を押して送り出してくれた母……。いつも感謝の気持ちを忘れずに、これからも選手とJスポを手にとってくれた人を驚かせていきたい。【渡辺真輝】

記者の目

私は高校時代、陸上競技部に所属していた。強豪とは言えない部で、強い選手でもなかった。結果の出ない苦しさ、次第に走るのが好きでなくなっていた。それでも、仲間を支えられてなんとか3年間の競技生活を終えた。しかし、私に「まだ走り続けたい」という熱は残っていない。陸上競技からは遠ざかっていった。進学して陸上を続けている仲間が記

ともに闘う仲間を募集

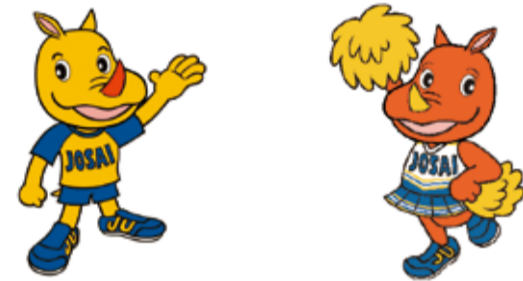
弓道部

昨年は健闘すると、なかなか結果が残らなかった弓道部。今年は、部員同士結束し、切磋琢磨して結果につなげていきたい。

結束して切磋琢磨で結果につなげる

気あふれる練習を見ながら、弓道部の説明を受け弓道を体験することです。

未経験者でも大歓迎!



Pharmacy×Sport

頼りになるスポーツファーマシスト

薬とスポーツ、この二つの言葉から連想されるのはドーピングですが、本人はそのつもりがなくてもドーピング扱いになってしま...

たとえば風邪をひいたとき、市販の風邪薬や鼻炎内服薬にはエフェドリンなどの禁止物質を含むものが非常に多いため、アスリートの方が使用するときは注意が必要です。

スポーツ選手と薬剤師

QOLの向上支援も

城西大学薬学部のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)には3学科すべてにおいて「一人ひとりのQOL(quality of life:生活と人生の質)を高め、健康のより良い状態になるように支援する...

この資格は薬剤師に限ったものですが、管理栄養士の資格には公認スポーツ栄養士というものがあります。アスリートをはじめスポーツ選手を支える様々な分野、薬と薬剤師も、その大きな役割を果たしています。

有力新入生 section with photos of athletes: 佐光菜々子, 大屋美優, 三ツ木桃香. Includes their names and personal bests.

期待の選手 section with photos of athletes: 福屋紗希, 和田春香, 高沢真歩, 上田未奈. Includes their names and roles.

目標は「関東駅伝優勝、全日本大学女子駅伝シード権獲得」

鍵握る2年生ペア 新チームに手応え

昨年度、全日本大学女子駅伝10位、富士山女子駅伝11位と悔しさを残した2年生ペア。駅伝部、難を乗り越えた2年生ペア(佐藤・高橋)は、現代政策の新人選手、上田未奈とペアを組む。

全日本大学女子駅伝シード権獲得の目標を掲げて始動している。新主将の和田春香(経営4)は、富士山女子駅伝で2位になった名城大(二)練習を強化した上で、名城大の強さを肌で感じていた。



ソフトテニス部

ソフトテニス部はキャンパスから少し離れたところにある2コートを利用して日々練習に励んでいる。現在の3部から昇格し、さらにはインカレ優勝を果たして1部に昇格するという大きな目標を掲げ、切磋琢磨している。

日々コツコツと鍛え上げる女子



ソフトテニス部

欠かすことができない。そんな状況でも諦めを絶えず、自分たちのスタイルで2年に真実に向き合っている。今年も夏は3部から昇格し、さらにはインカレ優勝を果たして1部に昇格するという大きな目標を掲げ、切磋琢磨している。

女子駅伝部

有力新入生 section with photos of athletes: 麻生勇介, 中谷貴弘. Includes their names and personal bests.

新主将の松村、高橋、今年箱根エース区間で好走した菊地らが核に

五大学対戦 4月3日 兵庫リレーカーニバル(兵庫) 4月29日 織田幹雄記念(広島) 5月19-22日 関東インカレ(神奈川・横浜) 6月10-12日 学生個人選手権(神奈川・平塚) 6月18日 全日本大学駅伝予選会(埼玉・浦和) 6月24-26日 日本選手権(愛知・名古屋) 9月2-4日 全日本インカレ(埼玉・熊谷) 9月25日 関東女子駅伝予選会(埼玉・熊谷) 10月15日 箱根駅伝予選会(東京・立川) 10月30日 全日本大学女子駅伝(宮城・仙台) 11月6日 全日本大学駅伝(名古屋・伊勢) 11月19日 10000;記録挑戦会(埼玉・浦和) 12月 全日本女子選抜駅伝(静岡) 1月2-3日 箱根駅伝(東京・箱根) 3月5日 日本学生ハーフマラソン(東京・立川) 日本女子学生ハーフマラソン(鳥取・松江)

期待の新入生が加入 箱根を見据えチームに勢い

「総合5位、2年連のシード権獲得の目標を掲げて臨んだ今年の箱根駅伝。しかし、結果は1位。過去最高順位は届かなかった。それでもチームは、果敢と、それでもチームは、既に来年の箱根を見据えている。」

期待の新入生が加入 箱根を見据えチームに勢い



さらなる成長に期待

1600リレー チームを引っ張る 昨年の関東インカレの1600リレーで初優勝を果たした陸上競技部。今年400リレーと1600リレーの成長に期待がかかる。

陸上競技部



さらなる成長に期待

400リレー、1600リレーの優勝と「リイコン」を掲げる。昨年の関東インカレでは、1600リレーの優勝と「リイコン」を掲げる。昨年の関東インカレでは、1600リレーの優勝と「リイコン」を掲げる。

60周年記念大会 section with photos of athletes and text about the 60th anniversary.

41回 全日本大学女子駅伝大会 section with photos of athletes and text about the relay race.

OB・OGの奮闘ぶり section with photos of former athletes and text about their current activities.

活躍する卒業生 section with photos of graduates and text about their achievements.

新入生に贈る言葉 section with photos of faculty and text about welcoming new students.